



2023年(令和5年)1月13日発行 福山市立常石ともに学園



新たな始まりに 想いを込めて

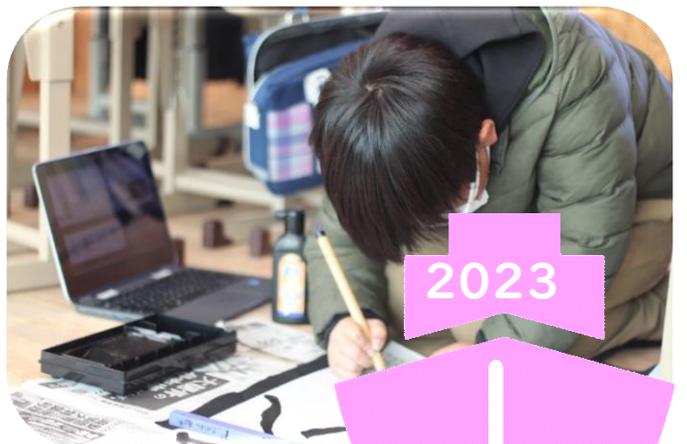


常石ともに学園 だより

眺洋山

ちょうようざん

学校教育目標 自立 共生 自己実現



2023

月



お知らせ information

三学期がスタートしました！

1月10日(火),三学期がスタートしました。

始業式では,校長先生から「竹の節目」のお話と,「キュッパのはくぶつかん」の読み聞かせがありました。子どもたちがそれぞれ,どのように話を聞き,どんなことを考えているか,ぜひご家庭でも話してみてください。

また,保健室の萩原先生からは,元気に三学期を過ごせるよう,健康に関する話もありました。

節目となる三学期を,みんなが元気に,楽しく過ごすことができるよう,ともに学び,ともに遊び,ともに伸びていきましょう。



みんなで『命』について考えました

12月,すくすくハウスの三須園長先生と先生方に,全てのクラスで授業をしていただきました。

低学年では,赤ちゃんの人形をベビーカーに乗せ,押してみることで,赤ちゃんの目線からどのような世界が見えているかを体験したり,人形を実際に抱え,抱っこするときとおんぶするときの違いについて考えたりしました。

また,高学年では,赤ちゃんがお腹の中にいる様子や,産まれてすぐの様子などについて知り,赤ちゃんがどんな世界を見たり感じたりしているのかも考えていきました。

子どもたちは,実際に体験したり,友だちと一緒に想像したりすることを通して,「赤ちゃんにも感情があり,小さなときからしっかりと関わること」「自分が家族やたくさんの人たちから,どれだけ大切に育てられてきたかということ」「自分が大人に,親になったとき,かけがえのない一人の人として,赤ちゃんとふれあうこと」など,多くのことを学ぶことができました。

異年齢で生活している子どもたちにとって,お互いを思いやる,相手の目線や立場に立って行動することの大切さを,改めて考えることのできる機会となりました。

貴重な学びの場をつくってくださった先生方,ありがとうございました。



地域の伝統文化を受け継ぐ

新春の1月8日(日),常石地区で「とんど」が行われました。

「とんど」は,平安時代,御所で行われていた正月行事の一つで,「左儀長」と呼ばれた行事が起源といわれています。それが段々と人々の間に広まり,福山城に初の城主が入城した際,それを祝って町の人々がとんどを飾りつけ,担ぎ回ったことが「練り歩く形のとんど」の起源だと言われています。その後,「とんど」は地域の人々が集い,正月飾りを焼くことで,一年間無病息災を願って行われるようになりました。(『大好き!ふくやま~ふるさと学習』より引用)

地域の伝統文化を受け継いでいくための第一歩は,行事に参加し,伝統文化に触れることではないでしょうか。今年,参加できなかったみなさんも,来年はぜひ参加してみてください。



第14回福山市沼隈町駅伝大会

1月15日(日),第14回福山市沼隈町駅伝大会が開催されます。

本校からも,子どもたちがチームを編成し,出場します。ぜひ,沿道から子どもたちや地域の方々へご声援をお願いします。

中継所		予想時刻
スタート	沼隈運動場	9:00
第一中継所	JA山南支所駐車場	9:09
第二中継所	柏迫池西公園	9:20
第三中継所	森近石材駐車場	9:26
第四中継所	能登原公民館駐車場	9:34
第五中継所	ツネイシCバリューズ前	9:43
第六中継所	矢川上橋袂	9:46
第七中継所	田島タクシー前	9:56
第八中継所	LR事業所 倉庫前	10:08
ゴール	沼隈運動場	10:13



常石ともに学園 写真館



たくさんの保護者のみなさんにご参加いただき、「世界旅行」の催しを行いました!



それぞれが調べて分かったり,体験して感じたりしたことが伝わるよう,伝え方を工夫しました



冬休み前には,高学年がたくさんの落ち葉を拾ってくれたおかげで,新年を気持ちよく迎えることができました